◆スレイ・ビボケイ中学校・「授業発表会」で発表した授業の概要

■テック・サーヴン先生　1年国語「肯定文と否定文・命令文」

私も多くの先生の前で授業をするには初めてなのでとっても緊張した。事前に勉強してきたことが、うまく教えられるか自信なかった。教科書中心の授業をするので、教科書を何度も読んで教える内容と授業の順序を覚えた。

生徒は小学校では子音や母音・単語の読み方・意味・書き方を勉強してきた。中学では文法を理解させて文語文の作り方を教える。日常会話で使っている口語文を文語体の文章に変えることを教える。今日は「私は市場に買い物に行きます」の文語体の文章と文法を教えた。

まとめでは教えた内容をゲーム化して楽しみながら覚えさせた。グループ内で、口語体で話した内容を他の生徒に文語体の文に変えて発表させた。少しの工夫で生徒も楽しく勉強することが出来た。

興味を持たせて授業をするサーヴン先生

参観の先生たちも真剣です

口語体と文語体の文章をボードに貼って授業を工夫

■分科会での質疑応答

質問（スリット中学のバルクーン先生）

私の学校では小学校で習った文字や単語を読めない生徒や書けない生徒がいる。会話には不自由しないので覚えようとしない。そのような生徒をどのように指導しているか教えて欲しい。

回答（テック・サーヴン先生）

スレイ・ビボケイ中学の先生は「その日の授業で教えたことは、その日の授業で分からせる」ことを目標に授業をしています。小学校で習ったことが分からない生徒も1年生にはいます。授業の中で時間を取って教え、空き時間や放課後に教えています。出来る生徒が一緒に教えてくれます。教えた内容のゲームを作って仲間に入れて、国語が嫌いな生徒をつくらないようにしています。

■授業参観した先生の感想

317高校（チャンニー先生）

教科書の内容を丁寧に教えて、生徒の質問も多く生徒によくわかった授業だった。生徒が授業に集中していたのに感心した。ビボケイ中学から来た生徒は317高校でも真面目だ。

ターイ中学（ブゥッター先生）

私は先生になって2年目なので授業の仕方がわからない。生徒が授業に集中しないので困っている。ビボケイ中学の生徒が授業に集中して活発なので驚いた。私もあのような授業をしたいので「生徒によくわかる授業の仕方」を習いたい。先生が笑顔を絶やさず授業しているのを見て、私も見習いたい。

授業の見学の仕方を打合せをする
ランサイ中の先生たち

分科会で議論する先生たち

スマホで授業の仕方を撮影する先生たち

◇ご支援をお願いいたします。

教育環境を整え、貧しい子に教育の機会を提供し、先生に指導力の向上のお手伝いをしています。
SSFCの活動へのご支援をお願いいたします。
寄附金のお振込みは、右記からお願いいたします。

■三菱UFJ銀行　神保町支店
口座番号（普）　0968555
■ゆうちょ銀行　00110－2－767497
口座名：公益社団法人 SSFカンボジア

詳しい解説・近況報告はSSFCホームページに掲載（ホームページ：http://www.ssfc.or.jp/　）しております。ぜひご覧ください。 右のQRコードからもアクセスできます。
お問い合わせは、TEL：03-6272-5717　FAX：03-3511-5019　E-mail：info@ssfc.or.jp

※活動内容の報告（バックナンバー）はホームページ「にょにゅむ通信」にも掲載されますので、ぜひごらんください。

にょにゅむは、カンボジア語で「笑顔」という意味です。

にょにゅむ通信

2019年7月号 No.19

公益社団法人
Sumita Scholarship Foundation , Cambodia
（SSFC） 代表理事　住田平吉
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町2-44
第二石坂ビル502
TEL：03-6272-5717　FAX：03-3511-5019
E-mail：info@ssfc.or.jp
ホームページ：http://www.ssfc.or.jp/

◆2019年7月10日：スレイ・ビボケイ中学校で「授業発表会」が行われました。

教室に入りきれず廊下から参観する他校からの先生達
（教室の中では、たくさん集まった他校の先生たちの前で、日ごろの成果の発表が行われています。）

■サイ・チャ・スホン州教育長挨拶（昨年のランサイ中学に続き2回目の参列）「良い方向に進んでいる。ビボケイ中学の様な授業が出来る学校はカンボジアでも少ない。生徒と先生が一体になったとても良い授業だった。私は誇りに思っている。ここに集まっている先生にお願いする。ビボケイ中の先生を見習って「生徒によくわかる授業」をして欲しい。

■ダン・ビィッチカ郡教育長挨拶：自作の簡単な教具で生徒に体験を通して教えることが、法則を覚えさせることよりもはるかに効果があることを今日の数学の授業を見て知った。生徒に実験させ、考えさせた2人の先生の理科の授業もよかった。生徒の目が輝いていた。生徒の考えを引き出した楽しい授業だった。実験道具の必要性を痛感した。

■トーン・ブンコーン校長挨拶：私はこんな田舎の学校で「授業発表会」が出来るとは思わなかった。先生の力になったとても良い発表会だった。先生の授業が良くなっただけでなく、SSFCは貧しい生徒に奨学金もくれている。校舎も5教室建設してくれた上に高校の分校開設にも協力してくれた。村人や学校にとって、こんなに嬉しいことはない。

■サヴォーン副校長から研究内容の説明：

私たちは、こんなにたくさんの先生の前で授業する「授業発表会」は初めてなので、とても緊張しました。生徒が授業を活発にしてくれました。私たちにとって「自慢の生徒たち」です。私たちは、「①生徒一人ひとりの学力を把握する②授業の事前勉強をする。③先生も楽しく生徒も楽しい授業をする④生徒によくわかる授業の工夫をする。⑤授業の最後に生徒の理解度を調べること」などを心がけています。

サヴォーン副校長

◆「生徒を見れば先生の指導が分かります。」（支援者様から）

○佐藤永次様： 生徒を見れば先生の指導が分かります。私たちに挨拶してくれる生徒の笑顔、授業中の活発な意見。先生の工夫した指導に感心しています。中学卒業試験に不合格者が2人しかいないと聞いて驚いています。

○佐藤知己様： 私たちはこれからも応援します。どの先生も笑顔で熱心に教えている姿と一生懸命勉強している生徒に感銘しました。高校の分校がこのビボケイ中学校内に開設することを聞いてうれしく思っています。

○森田隆様： 私もこの学校に2回来ました。去年来た時より先生も生徒の皆さんも笑顔で真面目で勉強に張り切っているのを感じています。授業も活気があって見ていても嬉しいです。これからも頑張ってください。

たくさんのお土産を持ってきて頂きました

挨拶をする佐藤永次様

お土産を渡す佐藤知己様

森田隆様

ホームページ：http://www.ssfc.or.jp/

◆スレイ・ビボケイ中学校・「授業発表会」で発表した授業の概要

■ライ・ソマリー先生　1年数学「直方体と四角椎の体積の求め方」:

初めての授業発表会、私も生徒もとても緊張した。いつもよりは活発な授業が出来なかったのが残念です。

授業の事前の勉強を毎日している。教具を作り、質問を考えている。今日は直方体と四角推を段ボールで作り、正面を透明なプラスチックにして中が見えるようにした。生徒にさせる実験も自分で何回もした。土・砂利・土を交互に入れて見やすい工夫もした。　指導案を書いて教える内容を細かく考え、計算も実際にやって、生徒が間違えやすい予想をたて、授業に臨んだ。

導入では、底面積と高さが同じ直方体の体積は、四角錐の3倍であることを、3人の生徒に土・砂利・土を実際に入れさせてわからせた。私が法則を言って教えるよりもよく分かったと思う。

次の展開として、直方体と四角錐の体積の求め方を復習した。四角錐の高さは自作の四角錐を使って考えさせた。沢山の意見を出させた。2つの立体の体積を計算させて3倍であることを分からせた。時間を多く取り生徒に考えさせた。その間私は生徒の解答を見て回り、個別に指導した。正答の生徒に考え方を発表させた。私は最後に説明の補足をするだけで、生徒に考えさせる授業をした。

まとめとして、練習問題を生徒に解かせた。その間私は数学の不得手な生徒を見て回り、つまずき部分を教えて回った。隣同士ノートを交換して答え合わせをした。間違えた生徒には、正答者が教えた。数学は不得手な生徒もいるので90分授業をしている。残りの30分は復習の時間にしている。

土と砂利を用意してライ・ソマリー先生

生徒もよく考えています。

授業参観する317高校の先生たち

■分科会での質疑応答

質問（ターイ中学の先生）数学だけ90分授業をしたが、いつも90分で授業しているのか？その理由は何か？

回答（ライ・ソマリー先生）校長の許可を受けて数学の授業は90分でやっています。数学は学力の差が大きいです。私は〔生徒全員に授業の中でわからせること〕を目標にしています。生徒一人ひとりに考えさせ、答えを出させ発表させています。間違えた生徒にはその原因がわかるまで教えています。それには60分必要です。残りの30分は練習問題と復習に当てています。学級の中には掛け算九九や大きな数の足し算のわからない生徒もいます。その生徒たちにも数学が嫌いにならように30分を使って個別に教えています。

■授業参観した先生の感想

317高校（セラー先生）私は数学の授業を見たが、とても楽しい良い授業だった。先生がどの生徒も褒めているので、生徒が先生を信頼していることを感じた。掛け算がすぐに出来ない生徒もいたが、数学が嫌いでなく一生懸命勉強していることに感心した。先生の情熱が生徒に伝わっているのだと思った。とても参考になった授業だった。317高校でもビボケイ中学の生徒は真面目だ。その理由が分かった。

ランサイ中学（ノッ・サバー副校長）「私も授業に引き込まれた。これが生徒に考えさせる授業だと分かった！」
段ボールで作った直方体と四角錐の1面を透明にして、土を入れた時に中が見えるように工夫した事。土と砂利を交互に入れて3倍入る事が見てわかる工夫した事もとても良かった。体積の計算をさせて直方体は四角錐の体積の3倍である事をわからせ、生徒同士で教えさせたことも良かった。

バッコン中学（イ・チトウ先生）とても役立った授業だった。ねらいが達成出来ている。自作の教具も良かったし、生徒に実験させたのも良かった。私も真似したい。

■サオ・キムリー先生　中1理科「電気を通すものと通さないもの」

沢山の先生が授業を見に来ると言うので、前日からとても緊張した。授業が始まって教室にいる沢山の先生を見て、私も生徒も緊張がひどくなった。SSFCから乾電池セットを貰ったので、事前に何度も実験した。生徒に考えさせる授業の仕方もSSFCに指導されたことを暗記して事業の準備をした。電気が通ることを、生徒に電池セットを使って実験して分からせてから、電気が通るものと通らないものを身近な材料から予想させた。生徒に身の回りのいろいろなものを使って実験させて確かめさせた。易しい実験なので4人グループで生徒自身が進めて、全員が経験することが出来た。実験は初めてなので全員が興奮していた。実験が上手くできたので、私も興奮して実験内容と結果のまとめ方を教えるのを忘れて授業を終わりにしてしまった。次時の授業で教えます。

「よく分かったでしょう！」とキムリー先生

これは生徒が良くわかるね。話し合う参観の先生

実験は楽しいし、よくわかる！

※活動内容の報告（バックナンバー）はホームページ「にょにゅむ通信」にも掲載されますので、ぜひごらんください。

◆スレイ・ビボケイ中学校・「授業発表会」で発表した授業の概要

■リー・ティッナッ先生　2年理科「水が流しだすもの」

私も前日からとても緊張した。朝学校に来て、本日授業参観するたくさんの先生を見て更に緊張した。

教科書に書いてあることを実験で確かめる授業をするので、自分で何回も実験した。教科書では水だけだが、私は湯でも実験して、流しだす時間の違いを分からせたいと思った。湯を2個のポットに用意した。インスタントコーヒーの粉とティーバッグ、透明な大きなカップを8グループ分用意した。

生徒は実験に慣れてなく混乱するので、私が各グループに実験道具を配った。水と湯も配ったので時間がかかってしまった。教科書に書いてあることを実際に実験して確かめた。生徒は「水が流しだすもの」を目で見たのでよく分かったと思う。水と湯で「水が流しだす速さ」の違いを分からせたが、湯が水よりも早く流しだすことを時間を計って違いを見せればもっとよく分かったと思うが、緊張していたので、忘れてしまった。残念に思っている。

実験の説明をするティッナッ先生

楽しいなー。どうなるかなー？

「この授業も楽しいねー」参観の先生たち

■授業参観した先生の感想

フンセン中学（スーン・ロス先生）電気を通すものと通さないものを、生徒が実際に実験して分からせたのがとても良かった。これなら生徒によくわかる。結果を予想させて考えさせる授業だった。私も真似したいが実験道具を貸してほしい。

プロック中学（サウ・キムホー先生）自分で工夫すれば、身近にある物で実験道具が出来ることも分かった。生徒に実験結果を予想させ考えさせる授業は素晴らしい！私もやってみる。

■分科会での質疑応答

質問（モート・ワンニー中学の先生）　実験道具が有って生徒に実験させれば、生徒が良く分かる。だが、どこの学校にも豆電球や電池ボックス・配線などがない。SSFCで全部の学校にくれないか？

回答（SSFC住田）　自分で工夫して出来るものもある。まずそれをやってほしい。今持ってきている実験道具は、日本で統廃合された小学校の余ったものを貰ってきている。郡内13中学にあげられる数はない。郡教育局と相談して貸し出すことも考えたい。

■ソックン・リンダ先生　3年英語「時計の読み方」

今日は、以前に郡内の英語の先生達に授業を見せた時よりも緊張した。授業が上手く出来るか心配だ。今回も50分間全部英語で授業する。英語の先生達には今回、3年生でも英語だけで授業をするところを見てもらいたい。

家では、「興味を持たせる授業・教えることの中心・まとめ」を考えて練習している。他校の先生は「教具がないから良い授業が出来ない」言うが、その考えを変える授業をする。

How are you?　の挨拶で授業を始め、前回の復習をした。英語で質問して生徒が英語で答えるいつもの授業をした。今日は、時計の正しい読み方と書き方を教えた。これまで8時10分は、eight・tenと教えていたが、It is ten past eight.と教えた。黒板に時計の図を書いて、英語で質問をして英語で答えさせ、英文で書かせて覚えさせた。時計の時刻を変えて全員で練習問題をした。別の練習問題を隣同士で答え合わせをして理解度を調べた。黒板に書いた時計の図だけでも活発な授業が出来た。見て頂いた様に生徒は全員50分間の授業を飽きずに真面目に楽しく勉強した。良く理解出来たと思う。私も生徒も緊張したけど、授業が始まると生徒は日ごろの授業と変わりなく活発になった。

研究の概要を発表するリンダ先生

時計の絵を描いて教えるリンダ先生

■分科会での質疑応答

質問（ランドーン中学の先生）　授業中に一度も教科書を使わないのか？

回答（リンダ先生）　練習問題の時は使ってる。教科書が生徒の学力に合っていないので教科書の内容を教えても生徒には理解できない。中学で教えることを全部書き出して、年間・月の計画を立て日々の授業計画をたてて授業している。

■授業参観した先生の感想

アンドン中学（ビチャイ先生）　なぜ教科書を使わないのかリンダ先生の説明を聞いて納得した。各学年で教える内容を調べて、生徒の学力に合うように指導内容を組み替えるのは大変な仕事だが、指導内容がよくわかるので先生の指導力は向上すると思う。素晴らしいことだ。生徒も活発に発表するし感心した。私もやってみる。

プラサート中学（ソムナーン校長）「英語だけで授業をすることは、先生の英語力が高くないと出来ない」と私は思っていた。今日の授業を見て「先生の意欲があれば出来る」と教えられた。私も事前の勉強をするようにしたい。

チューリウ中学（ナーン先生）　教科書の内容が難しすぎて全部終わりまで教え分からせるには時間が足りない。リンダ先生のように教える内容を組み替えてやればよいことが分かった。でも校長の許可が出ないと出来ない。

ホームページ：http://www.ssfc.or.jp/